



Catalyst 2960-8TC/Catalyst 2960G-8TC/ Catalyst 3560-8PC スイッチ Cable Guard インストールレーションノート

【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意
(www.cisco.com/jp/go/safety_warning/) をご確認ください。

本書は、米国シスコシステムズ発行ドキュメントの参考和訳です。
米国サイト掲載ドキュメントとの差異が生じる場合があるため、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。
また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

Customer Order Number: DOC-J-7817969=

December 2006

このインストールレーションノートには、Catalyst 2960-8TC/Catalyst 2960G-8TC/Catalyst 3560-8PC スイッチに Cable Guard を取り付ける方法が記載されています。これらのスイッチには、それぞれ専用の Cable Guard があります。

- Catalyst 2960-8TC スイッチ用 Cable Guard の製品番号：CBLGRD-C2960-8TC=
- Catalyst 2960G-8TC スイッチ用 Cable Guard の製品番号：CBLGRD-C2960G-8TC=
- Catalyst 3560-8PC スイッチ用 Cable Guard の製品番号：CBLGRD-C3560-8PC=

Cable Guard は、スイッチに接続されたケーブルを固定するだけでなく、設置したスイッチの取り外しに対するセキュリティ対策も提供します。



Americas Headquarters:
Cisco Systems, Inc., 170 West Tasman Drive, San Jose, CA 95134-1706 USA

Copyright © 2006 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

78-17969-01-J

目次

このマニュアルの内容は次のとおりです。

- 「表記法」 (p.2)
- 「インストール」 (p.3)
- 「関連資料」 (p.10)
- 「関連情報」 (p.11)
- 「マニュアルの入手方法」 (p.11)
- 「シスコ製品のセキュリティ」 (p.12)
- 「Product Alert および Field Notice」 (p.13)
- 「テクニカルサポート」 (p.13)
- 「その他の資料および情報の入手方法」 (p.16)

表記法

このマニュアルでは、注釈、注意、および警告に、次の表記法と記号を使用します。



(注)

「注釈」です。役立つ情報や、このマニュアル以外の参照資料などを紹介しています。



注意

「要注意」の意味です。機器の損傷またはデータ損失を予防するための注意事項が記述されています。



警告

安全上の重要事項

「危険」の意味です。人身事故を予防するための注意事項が記述されています。機器の取り扱い作業を行うときは、電気回路の危険性に注意し、一般的な事故防止対策に留意してください。

注：これらの注意事項を保存しておいてください。

注：このマニュアルは、製品に付属のインストールガイドと併せて利用してください。詳細については、インストールガイド、コンフィギュレーションガイド、またはその他の添付資料を参照してください。

インストレーション

ここでは、スイッチに Cable Guard を取り付ける方法と、スイッチを壁面、または機の上下に設置する方法について説明します。

EMC に関する規制事項

米国

この製品に関する米国の認定情報は、このマニュアルの後付けに記載されています。

梱包内容

この Cable Guard に同梱されている品目は次のとおりです。

- 『Catalyst 2960-8TC/Catalyst 2960G-8TC/Catalyst 3560-8PC スイッチ Cable Guard インストレーションノート』
- 0.25 インチ (0.64 cm) No.8 のなベネジ × 1
- 0.5 インチ (1.27 cm) No.8 のなベネジ × 2
- No.8 のセルフ タッピングなベネジ × 4



(注)

設置の状況によっては、さらにネジ用テンプレート、および No.8 のなベネジ × 3 が必要になります。これらの品目は、スイッチに付属のアクセサリ キットに同梱されています。

設置に関する注意事項

Cable Guard をスイッチに取り付ける前に、すべてのケーブルを接続しておきます。続いて、Cable Guard を取り付けしたスイッチを、壁面、または机の上下に設置します。



(注) Cable Guard を取り付けしたスイッチに、あとからケーブルを接続することはできません。スイッチへの装置の接続方法については、ハードウェア インストレーション ガイドを参照してください。



(注) スwitchの前面パネルを上向きにして壁面に取り付けないよう、強く推奨します。スイッチを壁面に取り付ける場合は、エアフローを確保するとともにケーブルにアクセスしやすくするため、スイッチの前面パネルを下向きにして取り付けることを推奨します。

作業を開始する前に、次の各セクションを参照して、スイッチの取り付け方法を確認してください。

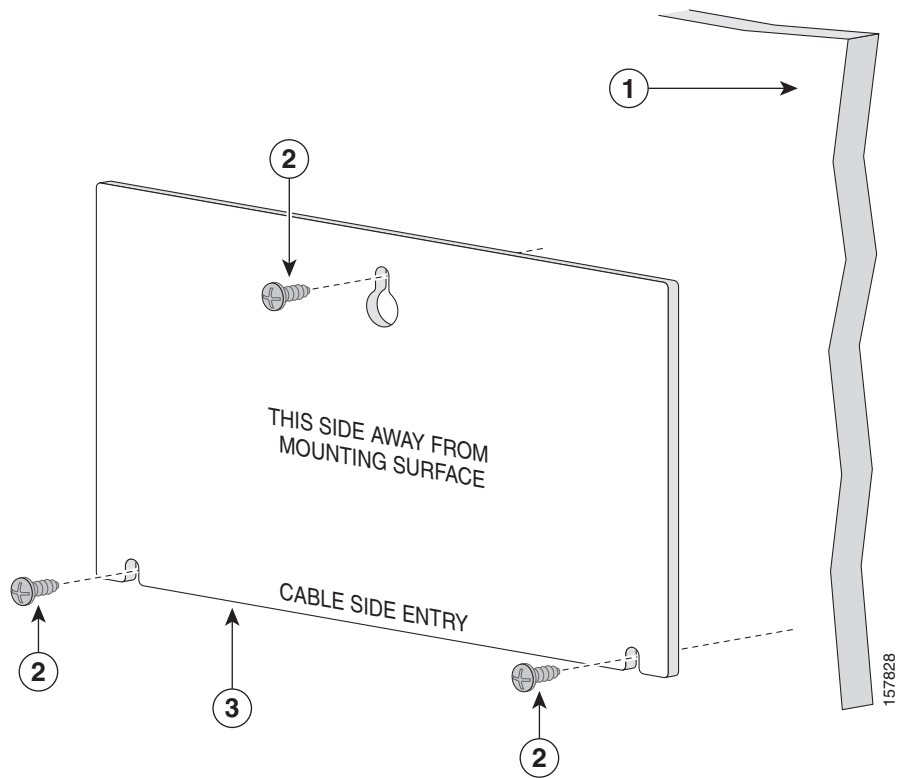
- 「壁面へのスイッチの取り付け（前面パネルが下向きの状態）」(p.4)
- 「机の上または下へのスイッチの設置」(p.9)
- 「磁石によるスイッチの取り付け」(p.9)

壁面へのスイッチの取り付け（前面パネルが下向きの状態）

スイッチの前面パネルを下向きにして取り付けるには、次の手順に従ってください。

- ステップ 1** ネジ用テンプレート（スイッチのアクセサリ キットに同梱）を確認します。テンプレートを使用して取り付けネジ穴を配置できます。また、壁面との間に適切なすき間を空けてネジを取り付けるための規準として利用することもできます。
- ステップ 2** 図 1 に示すように、横に並んだ 2 つのネジ穴が下向きになるようにネジ用テンプレートの位置決めをします。Cable Guard を取り付けしたスイッチを確実に支持できるように、ネジを壁面の間柱、またはしっかりと貼り付けられた合板の取り付け用背板に固定します。
- ステップ 3** ネジ用テンプレートの底面から粘着テープをはがします。
- ステップ 4** ネジ用テンプレートを壁面に貼り付けます。
- ステップ 5** ネジ用テンプレートを位置合わせのために使用しながら、0.144 インチ（3.7 mm）または #27 ドリルビットで壁面に 1/2 インチ（12.7 mm）の穴を 3 つ開けます。
- ステップ 6** ネジ用テンプレート上のネジ穴に No.8 のなべネジ（スイッチのアクセサリ キットに同梱）を 3 本差し込み、ネジ用テンプレートの上面に達するまでネジを締めます（図 1 を参照）。

図1 壁面への取り付けネジの取り付け

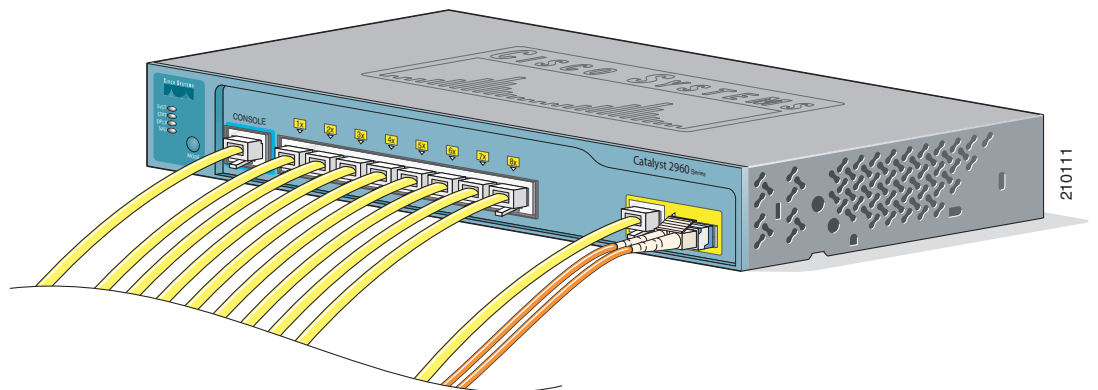


| | | | |
|---|----------------------|---|-----------------------------|
| 1 | 壁面 | 3 | スイッチのアクセサリ キットに同梱のネジ用テンプレート |
| 2 | スイッチのアクセサリ キットに同梱のネジ | | |

ステップ7 ネジ用テンプレートを壁面から取り外します。

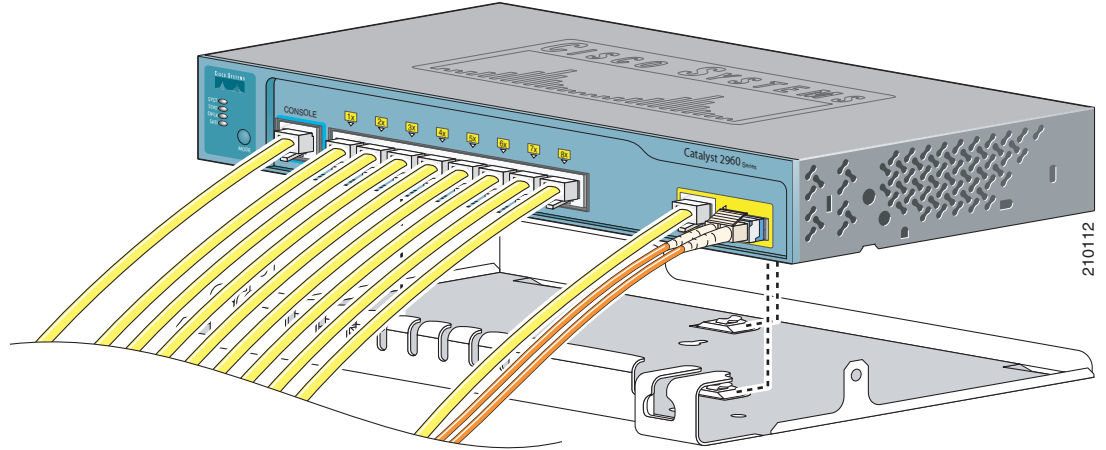
ステップ8 図2に示すように、スイッチにケーブルを取り付けます。スイッチに接続可能な装置の詳細については、ハードウェア インストール ガイドを参照してください。

図2 スイッチへのケーブルの取り付け



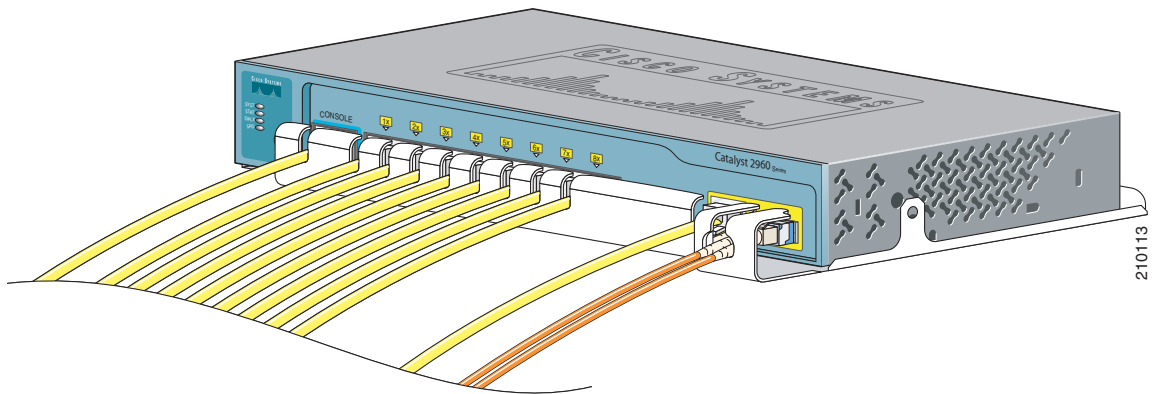
ステップ 9 図 3 に示すように、スイッチを Cable Guard にスライドさせてはめ込みます。Cable Guard の上面にある 3 つのフックにより、スイッチの底面が Cable Guard に固定されます。

図 3 Cable Guard へのスイッチのはめ込み



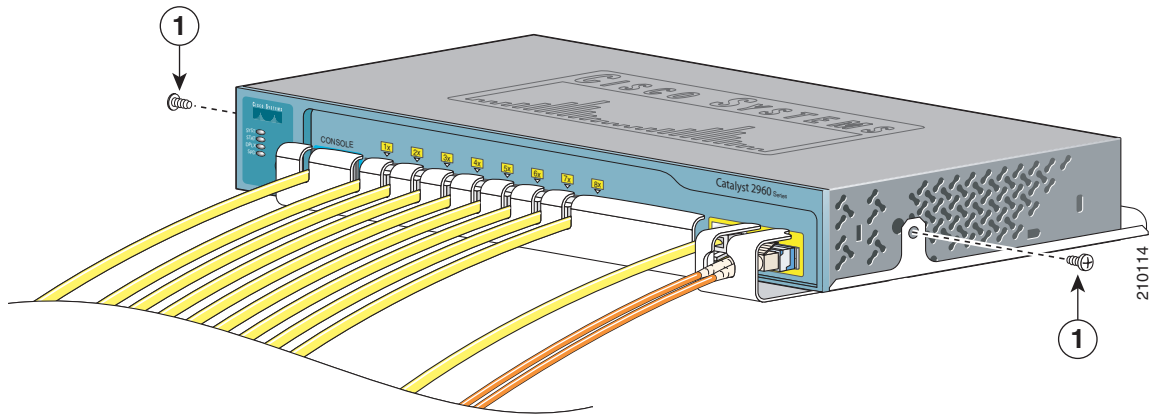
ステップ 10 図 4 に示すように、接続ケーブルを Cable Guard 前面のスロットに通します。

図 4 Cable Guard のスロットへのケーブルの引き回し



ステップ 11 図 5 に示すように、付属の 0.5 インチ (1.27 cm) No.8 のなべネジ×2 を使用して、Cable Guard の前部をスイッチに取り付けます。

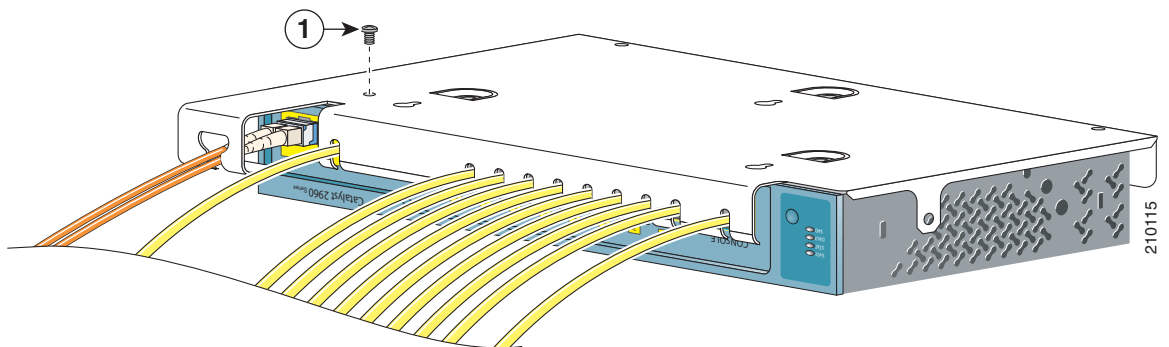
図5 スイッチへの前部取り付けネジの取り付け



1 Cable Guard キットに同梱のネジ

ステップ 12 (任意) 図6に示すように、付属の0.25インチ(0.64cm) No.8のなべネジを使用して、スイッチの底面をCable Guardに取り付けます。このオプションのネジを使用すれば、スイッチがCable Guardからたやすく取り外されてしまうのを防止できます。

図6 (任意) スイッチ底面へのネジの取り付け



1 Cable Guard キットに同梱のネジ

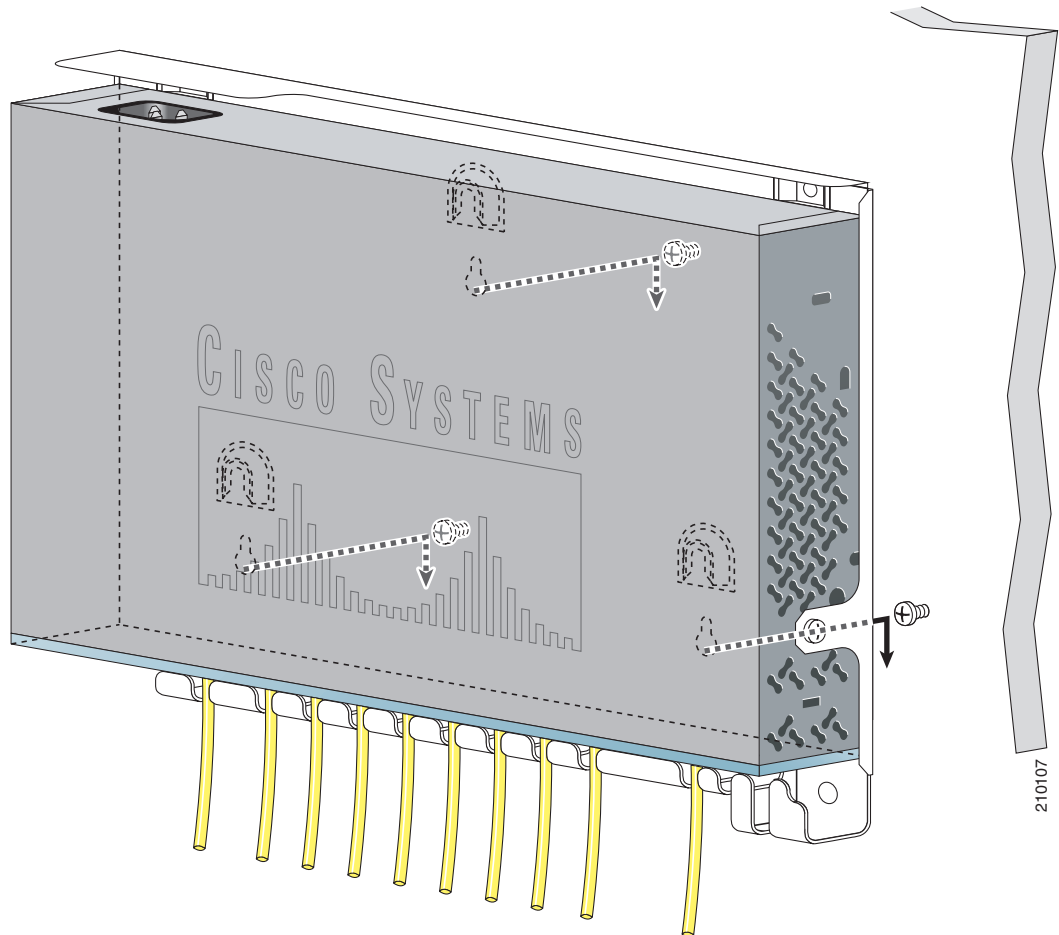
ステップ 13 図7に示すように、Cable Guardを取り付けたスイッチを、3つの取り付けネジの上にスライドさせます。

Cable Guardは、スイッチのシャーシよりも厚い素材で作られています。Cable Guardを取り付けたスイッチがネジの上に確実にスライドできるように、事前にネジを少し緩める必要があるかもしれません。



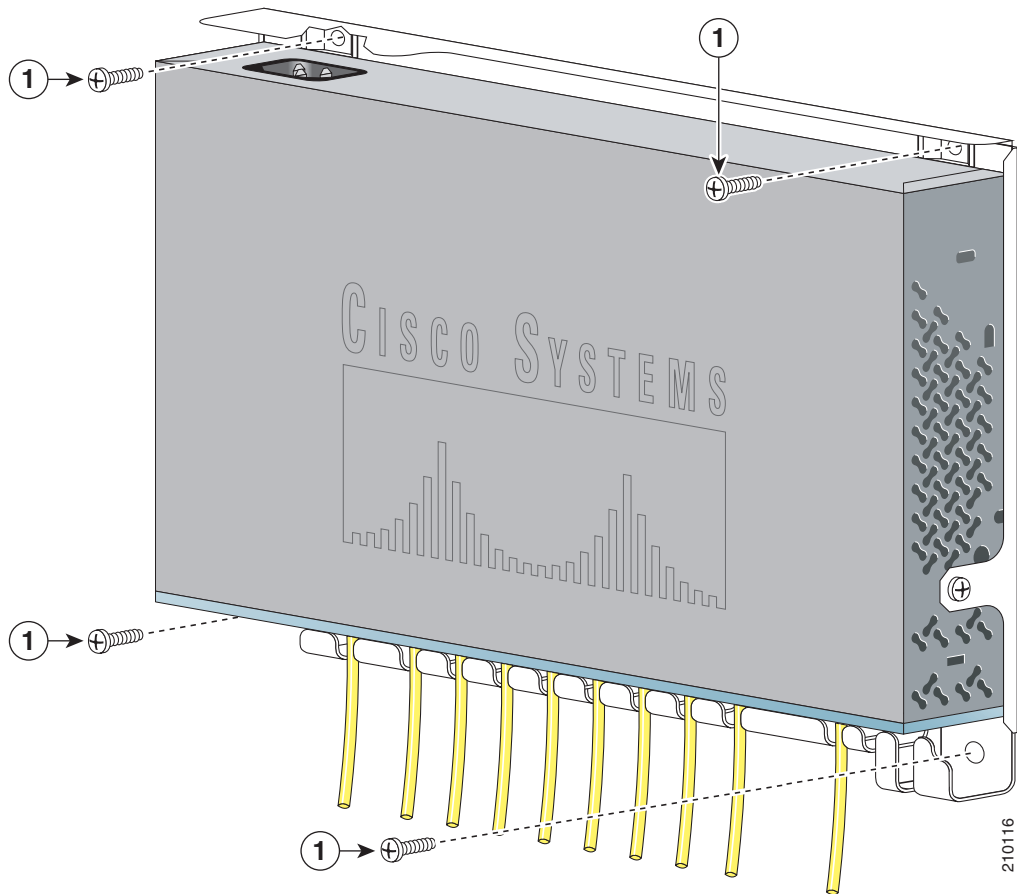
(注) スイッチの前面パネルを上向きにして壁面に取り付けないよう、強く推奨します。スイッチを壁面に取り付ける場合は、エアフローを確保するとともにケーブルにアクセスしやすくするため、スイッチの前面パネルを下向きにして取り付けることを推奨します。

図7 取り付けネジの上へのスイッチのスライド



ステップ 14 (任意) 図 8 に示すように、Cable Guard キットに同梱の No.8 のなべネジ×4 を使用して、スイッチを壁面にさらに固定します。

図 8 壁面へのスイッチの固定



| | |
|---|-----------------------|
| 1 | Cable Guard キットに同梱のネジ |
|---|-----------------------|

机の上または下へのスイッチの設置

Cable Guard を取り付けたスイッチは、机の上または下に設置できます。「壁面へのスイッチの取り付け (前面パネルが下向きの状態)」(p.4) の説明と同じ手順を実行します。ただし、壁面ではなく机の上または下に取り付けネジを取り付けるために、ネジ用テンプレートを使用してください。

磁石によるスイッチの取り付け

スイッチに付属の磁石を使用して、Cable Guard を取り付けたスイッチを設置することができます。詳細については、スイッチのハードウェア インストレーション ガイドを参照してください。

関連資料

Customer Order Number: DOC-xxxxxx= を利用して、資料の印刷物を注文できます。詳細については、「マニュアルの入手方法」(p.11) を参照してください。

これらの資料には、Catalyst 2960-8TC および Catalyst 2960G-8TC スイッチに関する詳細な情報が記述されており、次の Cisco.com サイトから入手できます。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps6406/tsd_products_support_series_home.html

- 『*Release Notes for the Catalyst 3750, 3560, 2970, and 2960 Switches*』(発注はできませんが、Cisco.com から入手できます)



(注) スイッチの設置、設定、またはアップグレードを行う前に、Cisco.com のリリースノートで最新情報を確認してください。

- 『*Catalyst 2960 Switch Software Configuration Guide*』(発注はできませんが、Cisco.com から入手できます)
- 『*Catalyst 2960 Switch Command Reference*』(発注はできませんが、Cisco.com から入手できます)
- 『*Catalyst 3750, 3560, 3550, 2970, and 2960 Switch System Message Guide*』(発注はできませんが、Cisco.com から入手できます)
- デバイス マネージャのオンラインヘルプ (スイッチ上で使用可能)
- 『*Catalyst 2960-8TC and Catalyst 2960G-8TC Switches Getting Started Guide*』(Customer Order Number: DOC-7817922=)



(注) 『*Catalyst 2960-8TC and Catalyst 2960G-8TC Switches Getting Started Guide*』(Customer Order Number: DOC-7817922=) は、英語でのみの提供となります。

- 『*Regulatory Compliance and Safety Information for the Catalyst 2960 Switch*』(Customer Order Number: DOC-7816880=)

これらの資料には、Catalyst 3560-8PC スイッチに関する詳細な情報が記述されており、次の Cisco.com サイトから入手できます。

http://www.cisco.com/en/US/products/hw/switches/ps5528/tsd_products_support_series_home.html

- 『*Release Notes for the Catalyst 3750, 3560, 2970, and 2960 Switches*』(発注はできませんが、Cisco.com から入手できます)。



(注) スイッチの設置、設定、またはアップグレードを行う前に、Cisco.com のリリースノートで最新情報を参照してください。

- 『*Catalyst 3560 Switch Software Configuration Guide*』 (Customer Order Number: DOC-7816156=)
- 『*Catalyst 3560 Switch Command Reference*』 (Customer Order Number: DOC-7816155=)
- 『*Catalyst 3750, 3560, 3550, 2970, and 2960 Switch System Message Guide*』 (Customer Order Number: DOC-7816154=)
- デバイス マネージャのオンラインヘルプ (スイッチ上で使用可能)
- 『*Catalyst 3560 Switch Getting Started Guide*』 (Customer Order Number: DOC-7816660=)
- 『*Regulatory Compliance and Safety Information for the Catalyst 3560 Switch*』(Customer Order Number: DOC-7816665=)

関連情報

スイッチの設置に関する詳細については、ハードウェア インストレーション ガイドを参照してください。

スイッチの設定に関する詳細については、ソフトウェア コンフィギュレーション ガイドおよびコマンドリファレンスを参照してください。

マニュアルの入手方法

シスコ製品のマニュアルおよびその他の資料は、Cisco.com で入手できます。ここでは、シスコが提供する製品マニュアルのリソースについて説明します。

Cisco.com

シスコの最新のマニュアルは、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/techsupport>

シスコの Web サイトには、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com>

<http://www.cisco.com/jp>

シスコの Web サイトの各国語版へは、次の URL からアクセスしてください。

http://www.cisco.com/public/countries_languages.shtml

Product Documentation DVD

Product Documentation DVD は、ポータブル メディアに収容された、技術的な製品マニュアルのライブラリです。この DVD を使用すると、シスコのハードウェア製品のインストレーション、ソフトウェア製品のインストール、設定、およびコマンドに関するガイドにアクセスできます。DVD を使用することで、次の URL にあるシスコの Web サイトに収録されている、HTML 形式のマニュアルおよび一部の PDF ファイルにアクセスできます。

<http://www.cisco.com/univercd/home/home.htm>

Product Documentation DVD は、毎月作成され、定期的に発行されます。DVD は、単独または購読契約で入手できます。Cisco.com に登録されている場合、次の URL にある Cisco Marketplace の Product Documentation Store から Product Documentation DVD (Customer Order Number DOC-DOCDVD= または DOC-DOCDVD=SUB) を発注できます。

<http://www.cisco.com/go/marketplace/docstore>

マニュアルの発注方法

Cisco Marketplace にアクセスするには、Cisco.com にユーザ登録されている必要があります。登録されている場合、次の URL にある Product Documentation Store からシスコ製品のマニュアルを発注できます。

<http://www.cisco.com/go/marketplace/docstore>

ログイン ID またはパスワードを取得されていない場合は、次の URL で登録手続きをしてください。

<http://tools.cisco.com/RPF/register/register.do>

シスコ製品のセキュリティ

シスコでは、無償の Security Vulnerability Policy ポータルを次の URL で提供しています。

http://www.cisco.com/en/US/products/products_security_vulnerability_policy.html

このサイトから、次の各内容に関する情報を入手できます。

- シスコ製品における脆弱性を報告する。
- シスコ製品のセキュリティ問題に対する支援を受ける。
- シスコからのセキュリティ情報を入手するために登録を行う。

シスコ製品に関するセキュリティ勧告、セキュリティ上の注意事項、およびセキュリティ応答のリストが以下の URL で確認できます。

<http://www.cisco.com/go/psirt>

セキュリティ勧告、セキュリティ上の注意事項、およびセキュリティ応答の更新をリアルタイムで確認するには、Product Security Incident Response Team Really Simple Syndication (PSIRT RSS) フィードに登録します。PSIRT RSS フィードの加入に関する詳細については、次の URL にアクセスしてください。

http://www.cisco.com/en/US/products/products_psirt_rss_feed.html

シスコ製品のセキュリティ問題の報告

シスコでは、安全な製品を提供することを目指しています。製品のリリース前に社内でテストを実施し、すべての脆弱性を迅速に修正するように努めております。お客様がシスコ製品の脆弱性を発見したと思われる場合は、次の PSIRT にご連絡ください。

- 緊急度の高い問題 — security-alert@cisco.com
緊急度の高い問題とは、システムが攻撃を受けている状態、または急を要する深刻なセキュリティの脆弱性を報告する必要がある状態を指します。それ以外の状態はすべて、緊急度の低い問題とみなされます。
- 緊急度の低い問題 — psirt@cisco.com

緊急度の高い問題の場合、次の電話番号で PSIRT に問い合わせることができます。

- 1 877 228-7302
- 1 408 525-6532



ヒント

お客様が第三者に知られたくない情報をシスコに送信する場合、Pretty Good Privacy (PGP) または PGP と互換性のある製品 (GnuPG など) を使用して情報を暗号化することを推奨します。PSIRT は、PGP バージョン 2x ~ 9.x で暗号化された情報を取り扱うことができます。

無効な暗号鍵または失効した暗号鍵は使用しないでください。PSIRT への連絡時には、次の URL にある Security Vulnerability Policy ページの Contact Summary セクションにリンクされている有効な公開鍵を使用してください。

http://www.cisco.com/en/US/products/products_security_vulnerability_policy.html

このページのリンクに、現在使用されている PGP 鍵の ID があります。

PGP を所有または使用していない場合は、機密情報を送信する前に PSIRT に連絡し、他のデータ暗号化方法についてご確認ください。

Product Alert および Field Notice

シスコ製品に関する変更やアップデートは、Cisco Product Alert および Cisco Field Notice で発表されます。Cisco Product Alert および Cisco Field Notice を受信するには、Cisco.com で Product Alert Tool を使用してください。このツールでプロフィールを作成し、情報の配信を希望する製品を選択できます。

Product Alert Tool にアクセスするには、Cisco.com にユーザ登録されている必要があります (Cisco.com にユーザ登録するには、次の URL にアクセスしてください。

<http://tools.cisco.com/RPF/register/register.do>)。登録ユーザは、次の URL からこのツールにアクセスできます。 <http://tools.cisco.com/Support/PAT/do/ViewMyProfiles.do?local=en>

テクニカル サポート

Cisco Technical Support では、評価の高い 24 時間体制のテクニカル サポートを提供しています。Cisco.com の Cisco Technical Support & Documentation Web サイトでは、広範囲にわたるオンラインでのサポート リソースを提供しています。さらに、シスコシステムズとサービス契約を結んでいる場合は、Technical Assistance Center (TAC) のエンジニアによる電話サポートも提供されます。シスコシステムズとサービス契約を結んでいない場合は、リセラーにお問い合わせください。

Cisco Technical Support & Documentation Web サイト

Cisco Technical Support & Documentation Web サイトでは、オンラインで資料やツールを利用して、トラブルシューティングやシスコ製品およびテクノロジーに関する技術上の問題の解決に役立てることができます。Cisco Technical Support & Documentation Web サイトは 24 時間ご利用いただけます。次の URL にアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/techsupport>

Cisco Technical Support & Documentation Web サイト上のツールにアクセスする際は、いずれも Cisco.com のログイン ID およびパスワードが必要です。サービス契約が有効で、ログイン ID またはパスワードを取得していない場合は、次の URL で登録手続きを行ってください。

<http://tools.cisco.com/RPF/register/register.do>



(注)

テクニカル サポートにオンラインまたは電話でお問い合わせいただく前に、**Cisco Product Identification Tool** を使用して、製品のシリアル番号をご確認ください。このツールにアクセスするには、Cisco Technical Support & Documentation Web サイトの **Tools & Resources** リンク、**All Tools (A-Z)** タブをクリックし、アルファベット順の一覧から **Cisco Product Identification Tool** を選択します。このツールは、製品 ID またはモデル名、ツリー表示、または特定の製品に対する **show** コマンド出力のコピー & ペーストによる 3 つの検索オプションを提供します。検索結果には、シリアル番号のラベルの場所がハイライトされた製品の説明図が表示されます。テクニカル サポートにお問い合わせいただく前に、製品のシリアル番号のラベルを確認し、メモなどに控えておいてください。

**ヒント****Cisco.com** での表示と検索

ブラウザで Web ページが更新されていないと思われる場合は、Ctrl キーを押しながら F5 キーを押して、Web ページを強制的に更新してください。

技術情報を検索する場合は、Cisco.com Web サイト全体ではなく、技術マニュアルに限定して検索してください。具体的には、Cisco.com ホームページで、Search ボックスの下にある **Advanced Search** リンクをクリックし、次に **Technical Support & Documentation** オプション ボタンをクリックします。

Japan TAC Web サイト

Japan TAC Web サイトでは、利用頻度の高い TAC Web サイト (<http://www.cisco.com/tac>) のドキュメントを日本語で提供しています。Japan TAC Web サイトには、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/jp/go/tac>

サポート契約を結んでいない方は、「ゲスト」としてご登録いただくだけで、Japan TAC Web サイトのドキュメントにアクセスできます。

Japan TAC Web サイトにアクセスするには、Cisco.com のログイン ID とパスワードが必要です。ログイン ID とパスワードを取得していない場合は、次の URL にアクセスして登録手続きを行ってください。

<http://www.cisco.com/jp/register/>

Service Request ツールの使用

オンラインの TAC Service Request ツールを使えば、S3 および S4 の問題について最も迅速にテクニカル サポートを受けられます（ネットワークの障害が軽微である場合、あるいは製品情報が必要な場合）。TAC Service Request ツールに状況を入力すると、推奨される解決方法が提示されます。これらの推奨リソースを使用しても問題が解決しない場合は、シスコの技術者が対応します。TAC Service Request ツールは次の URL からアクセスできます。

<http://www.cisco.com/techsupport/servicerequest>

問題が S1 または S2 であるか、インターネットにアクセスできない場合は、電話で TAC にご連絡ください（運用中のネットワークがダウンした場合、あるいは重大な障害が発生した場合）。S1 および S2 の問題にはシスコの技術者がただちに対応し、業務を円滑に運営できるよう支援します。

電話でテクニカル サポートを受ける際は、次の番号のいずれかをご使用ください。

アジア太平洋： +61 2 8446 7411

オーストラリア： 1 800 805 227

EMEA： +32 2 704 55 55

米国： 1 800 553 2447

TAC の連絡先一覧については、次の URL にアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/techsupport/contacts>

問題の重大度の定義

すべての問題を標準形式で報告するために、問題の重大度を定義しました。

重大度 1 (S1) — ネットワークがダウンし、業務に致命的な損害が発生する場合。24 時間体制であらゆる手段を使用して問題の解決にあたります。

重大度 2 (S2) — ネットワークのパフォーマンスが著しく低下、またはシスコ製品のパフォーマンス低下により業務に重大な影響がある場合。通常の業務時間内にフルタイムで問題の解決にあたります。

重大度 3 (S3) — ネットワークのパフォーマンスが低下しているが、ほとんどの業務運用が機能している場合。通常の業務時間内にサービスの復旧を行います。

重大度 4 (S4) — シスコ製品の機能、インストレーション、基本的なコンフィギュレーションについて、情報または支援が必要で、業務への影響がほとんどまたはまったくない場合。

その他の資料および情報の入手方法

シスコの製品、テクノロジー、およびネットワーク ソリューションに関する情報について、さまざまな資料をオンラインおよび印刷物で入手することができます。

- Cisco Online Subscription Center は、シスコの各種 E メール ニュースレターなどの配信を申し込むことができる Web サイトです。プロフィールを作成し、配信を希望する内容を選択します。Cisco Online Subscription Center には、次の URL からアクセスしてください。
<http://www.cisco.com/offer/subscribe>
- 『Cisco Product Quick Reference Guide』は、手軽に使えるコンパクトなリファレンス ツールで、チャネル パートナーを通じて販売されている多くのシスコ製品に関する製品概要、主な機能、製品番号、および簡単な技術仕様が記載されています。年に 2 回更新され、シスコの最新のチャネル製品が掲載されています。『Cisco Product Quick Reference Guide』の発注および詳細については、次の URL にアクセスしてください。
<http://www.cisco.com/go/guide>
- Cisco Marketplace では、さまざまなシスコの書籍、参考資料、マニュアル、およびロゴ入り商品を提供しています。Cisco Marketplace には、次の URL からアクセスしてください。
<http://www.cisco.com/go/marketplace/>
- Cisco Press では、ネットワーク、トレーニング、認定関連の出版物を幅広く発行しています。初心者から上級者まで、さまざまな読者向けの出版物があります。Cisco Press の最新の出版情報などについては、次の URL からアクセスしてください。
<http://www.ciscopress.com>
- 『Internet Protocol Journal』は、インターネットおよびイントラネットの設計、開発、運用を担当するエンジニア向けに、シスコシステムズが発行する季刊誌です。『Internet Protocol Journal』には、次の URL からアクセスしてください。
<http://www.cisco.com/ipj>
- シスコシステムズが提供するネットワーク製品およびカスタマー サポート サービスについては、次の URL にアクセスしてください。
<http://www.cisco.com/en/US/products/index.html>
- Networking Professionals Connection は、ネットワークの専門家がネットワーク製品やネットワーク技術に関する質問、提案、情報をシスコの専門家および他のネットワーク専門家と共有するためのインタラクティブな Web サイトです。ディスカッションに参加するには、次の URL にアクセスしてください。
<http://www.cisco.com/discuss/networking>
- 『What's New in Cisco Documentation』は、シスコ製品の最新マニュアル リリースに関する情報を提供するオンライン資料です。毎月更新されるこの資料は、製品カテゴリ別にまとめられているため、目的の製品マニュアルを簡単に見つけることができます。最新の『What's New in Cisco Documentation』には、次の URL からアクセスしてください。
<http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/abtnucd/136957.htm>
- シスコシステムズは最高水準のネットワーク関連のトレーニングを実施しています。トレーニングの最新情報については、次の URL からアクセスしてください。
<http://www.cisco.com/en/US/learning/index.html>

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザ側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

FCC クラス A 準拠装置に関する記述：この装置はテスト済みであり、FCC ルール Part 15 に規定された仕様のクラス A デジタル装置の制限に準拠していることが確認済みです。これらの制限は、商業環境で装置を使用したときに、干渉を防止する適切な保護を規定しています。この装置は、無線周波エネルギーを生成、使用、または放射する可能性があり、この装置のマニュアルに記載された指示に従って設置および使用しなかった場合、ラジオおよびテレビの受信障害が起こることがあります。住宅地でこの装置を使用すると、干渉を引き起こす可能性があります。その場合には、ユーザ側の負担で干渉防止措置を講じる必要があります。

FCC クラス B 準拠装置に関する記述：このマニュアルに記載された装置は、無線周波エネルギーを生成および放射する可能性があります。シスコシステムズの指示する設置手順に従わずに装置を設置した場合、ラジオおよびテレビの受信障害が起こることがあります。この装置はテスト済みであり、FCC ルール Part 15 に規定された仕様のクラス B デジタル装置の制限に準拠していることが確認済みです。これらの仕様は、住宅地で使用したときに、このような干渉を防止する適切な保護を規定したものです。ただし、特定の設置条件において干渉が起きないことを保証するものではありません。

シスコシステムズの書面による許可なしに装置を改造すると、装置がクラス A またはクラス B のデジタル装置に対する FCC 要件に準拠しなくなることがあります。その場合、装置を使用するユーザの権利が FCC 規制により制限されることがあり、ラジオまたはテレビの通信に対するいかなる干渉もユーザ側の負担で矯正するように求められることがあります。

装置の電源を切ることによって、この装置が干渉の原因であるかどうかを判断できます。干渉がなくなれば、シスコシステムズの装置またはその周辺機器が干渉の原因になっていると考えられます。装置がラジオまたはテレビ受信に干渉する場合には、次の方法で干渉が起きないようにしてください。

- 干渉がなくなるまで、テレビまたはラジオのアンテナの向きを変えます。
- テレビまたはラジオの左右どちらかの側に装置を移動させます。
- テレビまたはラジオから離れたところに装置を移動させます。
- テレビまたはラジオとは別の回路にあるコンセントに装置を接続します (装置とテレビまたはラジオがそれぞれ別個のブレーカーまたはヒューズで制御されるようにします)。

米国シスコシステムズ社では、この製品の変更または改造を認めていません。変更または改造した場合には、FCC 認定が無効になり、さらに製品を操作する権限を失うこととなります。

シスコシステムズが採用している TCP ヘッダー圧縮機能は、UNIX オペレーティング システムの UCB (University of California, Berkeley) パブリック ドメインバージョンの一部として、UCB が開発したプログラムを最適化したものです。All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコシステムズおよびこれら各社は、商品性や特定の目的への準拠性、権利を侵害しないことに関する、または取り扱い、使用、または取引によって発生する、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコシステムズおよびその代理店は、このマニュアルの使用またはこのマニュアルを使用できないことによって起こる制約、利益の損失、データの損傷など間接的で偶発的に起こる特殊な損害のあらゆる可能性がシスコシステムズまたは代理店に知らされていても、それらに対する責任を一切負いかねます。

CCVP, the Cisco Logo, and the Cisco Square Bridge logo are trademarks of Cisco Systems, Inc.; Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn is a service mark of Cisco Systems, Inc.; and Access Registrar, Aironet, BPX, Catalyst, CCDA, CCDP, CCIE, CCIP, CCNA, CCNP, CCSP, Cisco, the Cisco Certified Internetwork Expert logo, Cisco IOS, Cisco Press, Cisco Systems, Cisco Systems Capital, the Cisco Systems logo, Cisco Unity, Enterprise/Solver, EtherChannel, EtherFast, EtherSwitch, Fast Step, Follow Me Browsing, FormShare, GigaDrive, GigaStack, HomeLink, Internet Quotient, IOS, IP/TV, iQ Expertise, the iQ logo, iQ Net Readiness Scorecard, iQuick Study, LightStream, Linksys, MeetingPlace, MGX, Networking Academy, Network Registrar, Packet, PIX, ProConnect, RateMUX, ScriptShare, SlideCast, SMARTnet, StackWise, The Fastest Way to Increase Your Internet Quotient, and TransPath are registered trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the United States and certain other countries.

All other trademarks mentioned in this document or Website are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (0609R)

このマニュアルで使用している IP アドレスは、実際のアドレスを示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、および図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスが使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

Copyright © 2006, Cisco Systems, Inc.
All rights reserved.

お問い合わせは、購入された各代理店へご連絡ください。

シスコシステムズでは以下のURLで最新の日本語マニュアルを公開しております。
本書とあわせてご利用ください。

Cisco.com 日本語サイト

http://www.cisco.com/japanese/warp/public/3/jp/service/manual_j/

日本語マニュアルの購入を希望される方は、以下のURLからお申し込みいただけます。

シスコシステムズマニュアルセンター

<http://www2.hipri.com/cisco/>

上記の両サイトで、日本語マニュアルの記述内容に関するご意見もお受けいたしますので、
どうぞご利用ください。

なお、技術内容に関するご質問は、製品を購入された各代理店へお問い合わせください。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先 (シスコ コンタクトセンター)

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter>

0120-933-122 (通話料無料)、03-6670-2992 (携帯電話、PHS)

電話受付時間 : 平日 10:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00

DOC-J-7817969=
78-17969-01-J